

2020年3月期第2四半期 決算説明会

住

Infrastructure

2019年10月31日

株式会社トプコン

代表取締役社長 平野 聡

医

Healthcare

食

Agriculture

2020年3月期第2四半期 決算説明会

I. 2020年3月期第2四半期 決算報告

II. 2020年3月期 通期見通し

III. 参考資料

I . 2020年3月期第2四半期 決算報告

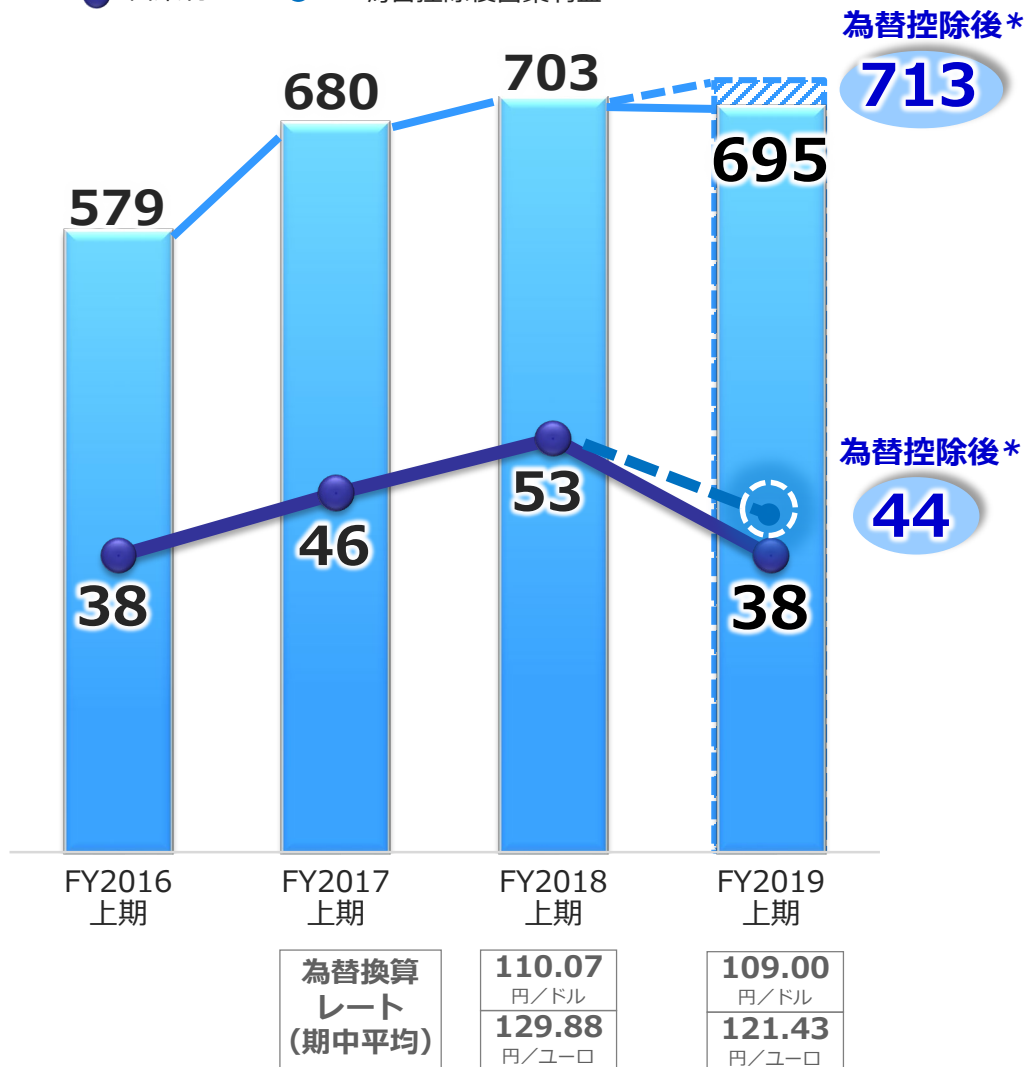
I-1. 2020年3月期第2四半期 決算報告

I-2. 事業別の状況

FY2019 上期決算概要

売上高 為替控除後売上高 (単位：億円)

営業利益 為替控除後営業利益



・売上横ばい・減益

マクロ環境と為替の影響

上期実績 (前同比)

売上高 695億円 (△1%)

営業利益 38億円 (△28%)

・2Qは回復傾向

為替影響を除き実質増収
営業利益横ばい

		(単位：億円)		
		FY2018	FY2019	増減 (%)
売上	1Q	334	331	△3 (△1%)
	2Q	369	382	+13 (+4%)
営業利益	1Q	19	12	△7 (△39%)
	2Q	34	32	△2 (△5%)

*為替控除後：

2019年度実績を前年同期の為替レートを用いた換算値

FY2019 上期実績 [連結]

(単位：百万円)

	FY2018	FY2019				
	上期実績	上期実績	前年同期比	%	為替控除後	%
売上高	70,271	69,527	△744	△1%	71,289	+1%
売上総利益 (売上総利益率)	37,034 (52.7%)	36,972 (53.2%)	△62			
販管費	31,765	33,161	1,396			
営業利益 (営業利益率)	5,268 (7.5%)	3,810 (5.5%)	△1,458	△28%	4,355 (6.1%)	△17%
営業外損益	△526	△1,049	△523			
経常利益	4,742	2,761	△1,981	△42%	3,738	△21%
特別損益	△730	△555	175			
税引前利益	4,012	2,205	△1,807			
純利益	2,146	895	△1,251	△58%		
中間配当	12円	14円				
為替 換算レート (期中平均)	USD 110.07 円 EUR 129.88 円	109.00 円 121.43 円	△1.07 円 △8.45 円			

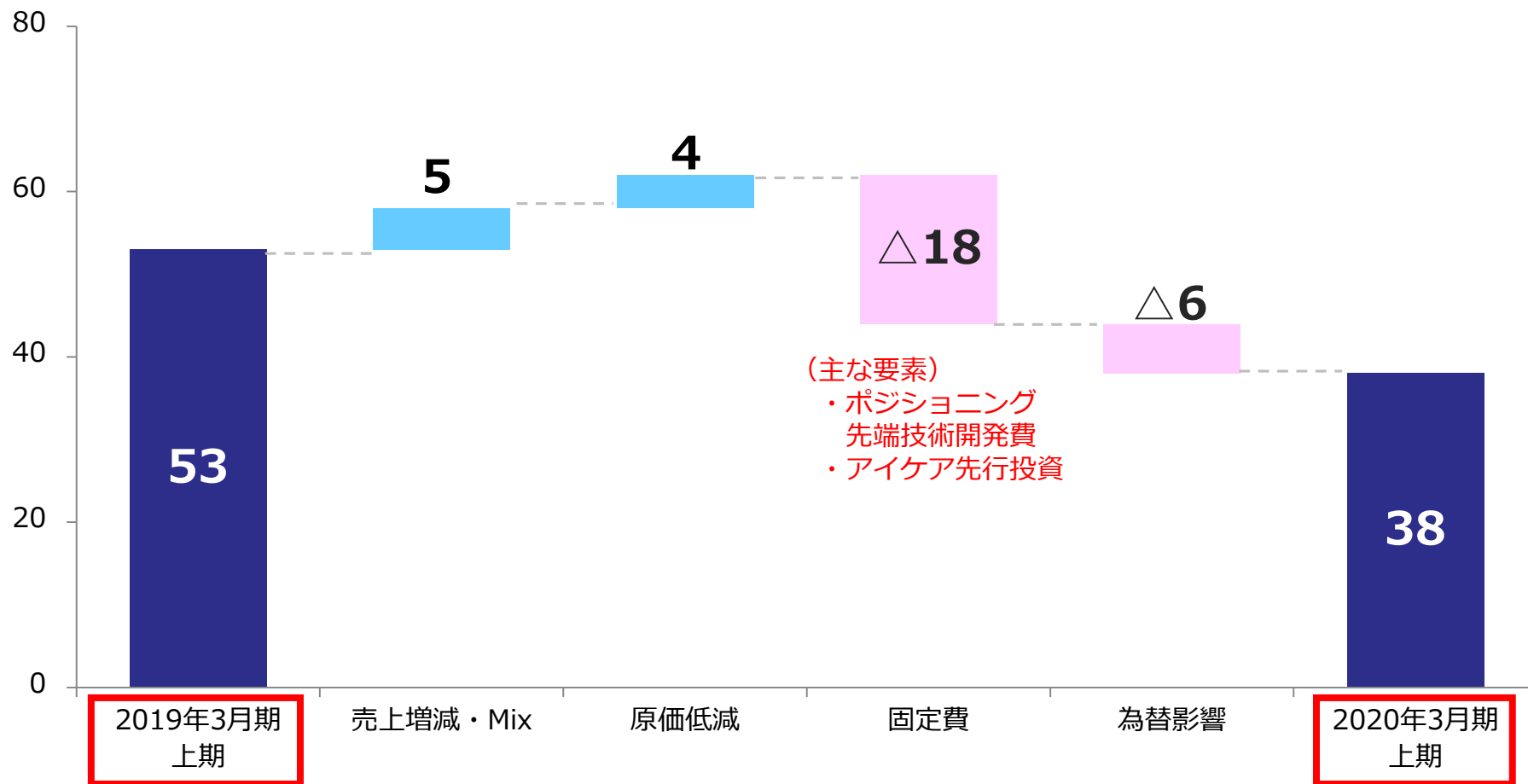
FY2019 上期事業別実績 [連結]

(単位：百万円)

		FY2018	FY2019				
		上期実績	上期実績	前年同期比	%	為替控除後	%
売上高	ポジショニング	37,018	37,116	98	+0%	38,150	+3%
	スマートインフラ	18,207	17,057	△1,150	△6%	17,268	△5%
	アイケア	21,828	22,202	374	+2%	22,733	+4%
	その他	934	686	△248	△27%		
	消去	△7,716	△7,535	181			
	合計	70,271	69,527	△744	△1%	71,289	+1%
営業利益 (営業利益率)	ポジショニング	3,740 (10.1%)	2,850 (7.7%)	△890	△24%	2,924 (7.7%)	△22%
	スマートインフラ	2,856 (15.7%)	2,492 (14.6%)	△364	△13%	2,621 (15.2%)	△8%
	アイケア	636 (2.9%)	616 (2.8%)	△20	△3%	980 (4.3%)	+54%
	その他	△17 (△1.8%)	△62 (△9.0%)	△45	-		
	調整	△1,947	△2,086	△139			
	合計	5,268 (7.5%)	3,810 (5.5%)	△1,458	△28%	4,355 (6.1%)	△17%

FY2019 上期増減益分析（営業利益ベース:前年同期比）

（単位：億円）



I . 2020年3月期第2四半期 決算報告

I-1. 2020年3月期第2四半期 決算報告

I-2. 事業別の状況

増収・2Q回復傾向も減益

(単位：百万円)

		FY2018	FY2019			
		上期実績	上期実績	前年同期比	%	為替控除後
					%	
売上高		37,018	37,116	98	+0%	38,150
営業利益 (営業利益率)		3,740 (10.1%)	2,850 (7.7%)	△890	△24%	2,924 (7.7%)
為替 換算レート	USD	110.07 円	109.00 円	△1.07 円		
	EUR	129.88 円	121.43 円	△8.45 円		

■ 上期業績要因分析

- ICT自動化施工 主要市場(米・欧・日)で販売堅調
- IT農業 OEMは横ばい、アフターは低迷継続
- 先行開発投資を継続

2Q回復傾向も減収・減益

(単位：百万円)

	FY2018	FY2019				
		上期実績	前年同期比	%	為替控除後	%
売上高	18,207	17,057	△1,150	△6%	17,268	△5%
営業利益 (営業利益率)	2,856 (15.7%)	2,492 (14.6%)	△364	△13%	2,621 (15.2%)	△8%
為替 換算レート	USD	110.07 円	109.00 円		△1.07 円	
	EUR	129.88 円	121.43 円		△8.45 円	

■ 上期業績要因分析

- 国内建設市場・i-Construction 販売好調
- IT農業 販売伸長
- 中国・東南アジア市場で需要低迷が長引く

為替影響も増収、利益堅調

(単位：百万円)

		FY2018	FY2019			
		上期実績	上期実績	前年同期比	%	為替控除後
					%	%
売上高		21,828	22,202	374	+2%	22,733
営業利益 (営業利益率)		636 (2.9%)	616 (2.8%)	△20	△3%	980 (4.3%)
為替 換算レート		USD 110.07 円	109.00 円	△1.07 円		
		EUR 129.88 円	121.43 円	△8.45 円		

■ 上期業績要因分析

- スクリーニングビジネス 販売伸長
- 中国向け販売伸長
- 為替影響を除き大幅増益
- 先行投資を拡大

Ⅱ. 2020年3月期 通期見通し

Ⅱ-1. 2020年3月期 通期見通し

Ⅱ-2. 下期以降の注力事項

Ⅱ-3. まとめ

通期計画見直し

通期業績見直し

以下要素を総合的に勘案し業績見直しを修正

- ① 為替前提の見直し、3Q以降 1ユーロ=120円
- ② 米中貿易摩擦の長期化による売上減速懸念
(ポジショニング/スマートインフラ)
- ③ 拡大基調のスクリーニングビジネス（アイケア）
- ④ 販管費削減による経営効率の向上
- ⑤ 投資効果（新製品リリース、OEM拡充）

計画の見直し

		公表値 (7/31)	新公表値 (10/31)	増減	増減%
売上高		1,540億円	1,500億円	△40億円	△3%
営業利益		145億円	125億円	△20億円	△14%
純利益		80億円	60億円	△20億円	△25%
配当		28円	28円	変更なし	
為替 前提	ドル	110円	110円	-	
	ユーロ	125円	120円	↘ 5円	

FY2019 通期見通し [連結]

(単位：百万円)

	FY2018		FY2019			
	上期実績	通期実績	上期実績	通期見通し	前年度比(%)	2019年7月31日公表値
売上高	70,271	148,688	69,527	150,000	+1%	154,000
営業利益 (営業利益率)	5,268 (7.5%)	13,596 (9.1%)	3,810 (5.5%)	12,500 (8.3%)	△8%	14,500 (9.4%)
経常利益	4,742	11,497	2,761	10,500	△9%	12,500
純利益	2,146	6,548	895	6,000	△8%	8,000
R O E		9.8%		9%		11%
配当	12円	24円	14円	28円		28円
配当性向		39%		49%		37%
為替換算レート (期中平均)	U S D E U R	110.07円 129.88円	110.69円 128.43円	109.00円 121.43円	(下期前提レート) 110円 120円	110円 125円

FY2019 通期見通し [連結] (事業別)

(単位：百万円)

		FY2018		FY2019			
		上期 実績	通期 実績	上期 実績	通期 見通し	前年度比 (%)	2019年 7月31日 公表値
売上高	ポジショニング	37,018	77,722	37,116	76,500	△2%	79,000
	スマートインフラ	18,207	36,744	17,057	36,000	△2%	38,500
	アイケア	21,828	47,713	22,202	51,000	+7%	51,000
	その他	934	1,698	686	1,500	△12%	1,500
	消去	△7,716	△15,190	△7,535	△15,000		△16,000
	合計	70,271	148,688	69,527	150,000	+1%	154,000
営業利益 (営業利益率)	ポジショニング	3,740 (10.1%)	8,358 (10.8%)	2,850 (7.7%)	7,500 (9.8%)	△10%	8,500 (10.8%)
	スマートインフラ	2,856 (15.7%)	6,393 (17.4%)	2,492 (14.6%)	5,600 (15.6%)	△12%	6,600 (17.1%)
	アイケア	636 (2.9%)	2,896 (6.1%)	616 (2.8%)	3,400 (6.7%)	+17%	3,400 (6.7%)
	その他	△17 (△1.8%)	△65 (△3.8%)	△62 (△9.0%)	0 (0.0%)	-	0 (0.0%)
	調整	△1,947	△3,986	△2,086	△4,000		△4,000
	合計	5,268 (7.5%)	13,596 (9.1%)	3,810 (5.5%)	12,500 (8.3%)	△8%	14,500 (9.4%)

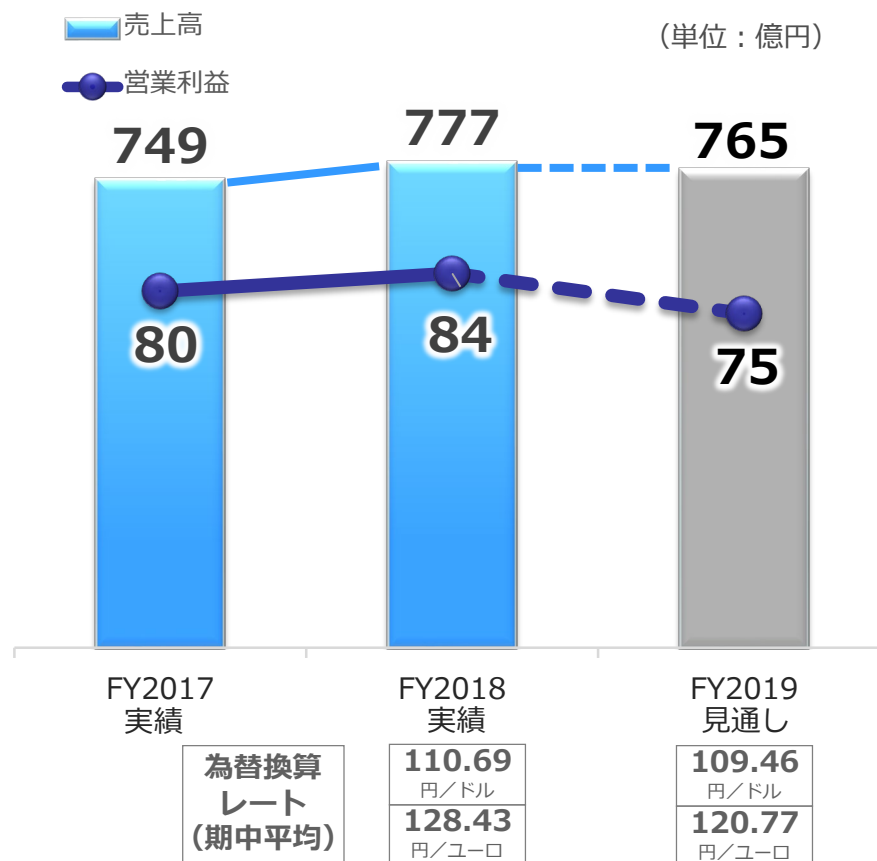
Ⅱ. 2020年3月期 通期見通し

Ⅱ-1. 2020年3月期 通期見通し

Ⅱ-2. 下期以降の注力事項

Ⅱ-3. まとめ

- ICT自動化施工 新製品投入による販売伸長
- IT農業 市況逆風下も新製品攻勢
- 経営効率の向上
- 米国Bentley Systems社とJVを設立



新製品ラッシュ

- 15～20種の新製品投入予定
(今後6ヶ月)



- 米国最大の建機展示会
に向けて攻勢
- OEM向け新製品も
3～5モデル投入予定
- 自動ショベルシステム (リリース済)
は下期販売貢献に期待！



ConExpo

米国最大の建機展示会
(3年毎に開催)

開催時期：2020年3月

来場者数：約**13万人** (予定)

出展社数：約**2,800社** (予定)

会場：米国、ラスベガス

ICT自動化施工売上見通し

(金額)

新製品増収
効果を期待！

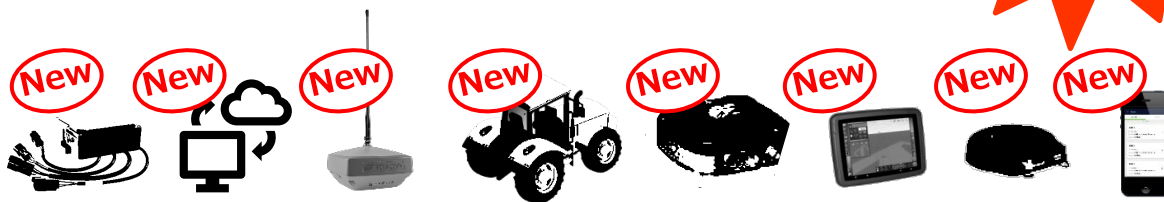


FY2018
実績

FY2019
見通し

新製品ラッシュ

- 新製品10モデルを投入予定
- 世界最大の農機展示会にて発表



新製品
リリース

**AGRI
TECHNICA**
THE WORLD'S NO. 1

Agritechnica

世界最大の農機展示会
(2年毎に開催)

開催時期：2019年11月

来場者：約**50万人**（予定）

出展社数：約**3,000社**（予定）

会場：ドイツ、ハノーバー

IoTプラットフォームビジネス本格始動

クラウド型 農業マネジメント
IoTソリューション
を本格リリース！



サブスクリプション
モデル

オフィス

農場のあらゆるデータをデジタル化
品質向上、生産性を最大化

農機の自動化

- + 診断する
- + 予測する
- + 処方する + 進捗管理

施策

不透明な事業環境の下、当社独自技術を活かし販売伸長に努める一方、以下施策に注力し経営効率の向上を目指す

- ① 販管費の抑制強化
- ② 製造原価の低減



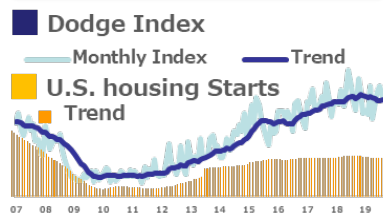
**経営効率の
更なる向上を目指す！**

参考：マクロ環境

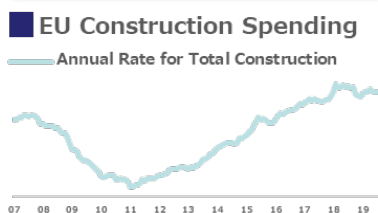
建設市場

概ね堅調も若干減速傾向

米国



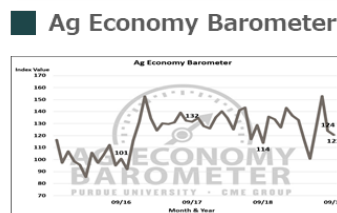
欧州



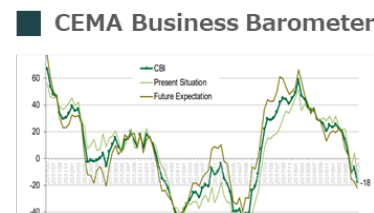
農業市場

欧米とも厳しい状況が続く

米国



欧州



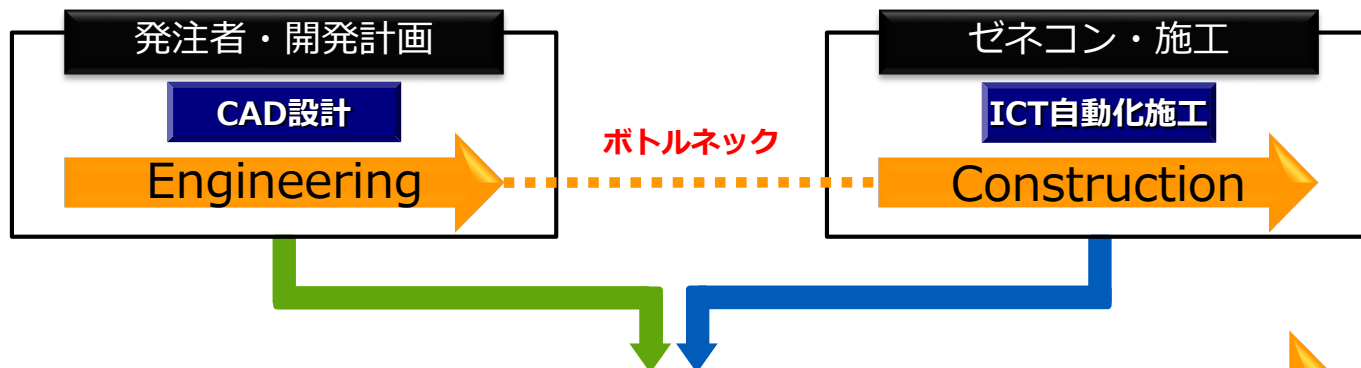
ICT自動化施工の普及を加速！

■ 概要: 会社名 : Digital Construction Works Inc.
事業内容 : コンサルティングサービス・ソフトウェア販売

■ 設立目的: Engineering(発注者・開発計画)フローとConstruction(ゼネコン・施工)フローを**一気通貫**に結ぶ新ワークフロー **“Constructioneering”** (造語) のもとICT自動化施工の普及促進を目指す

現状

ワークフロー

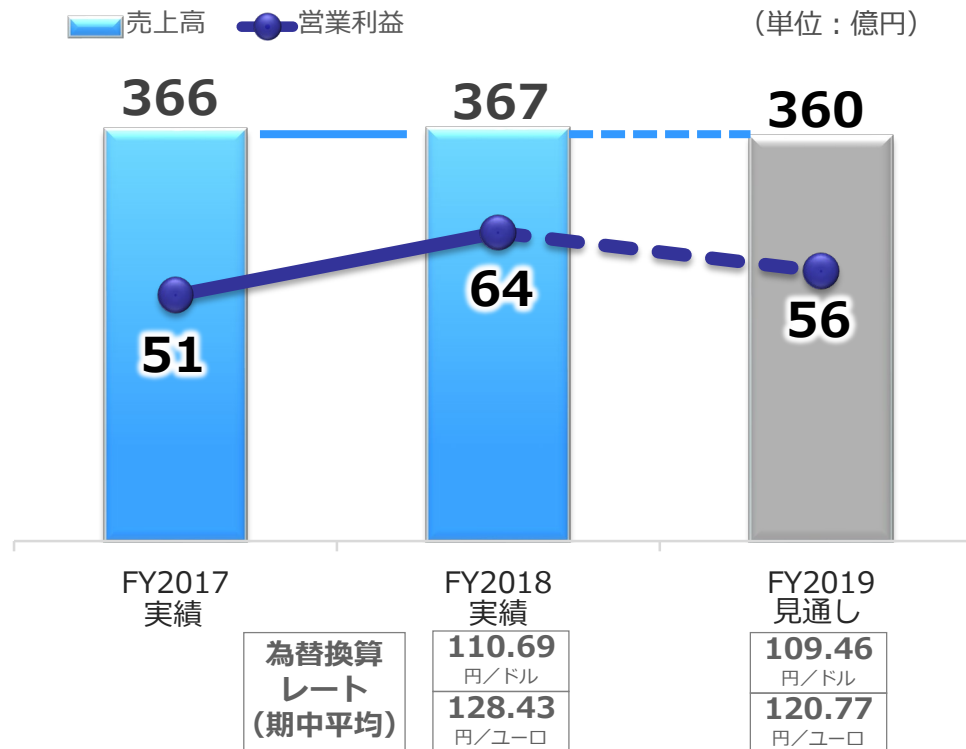


新ワークフロー

目指す姿



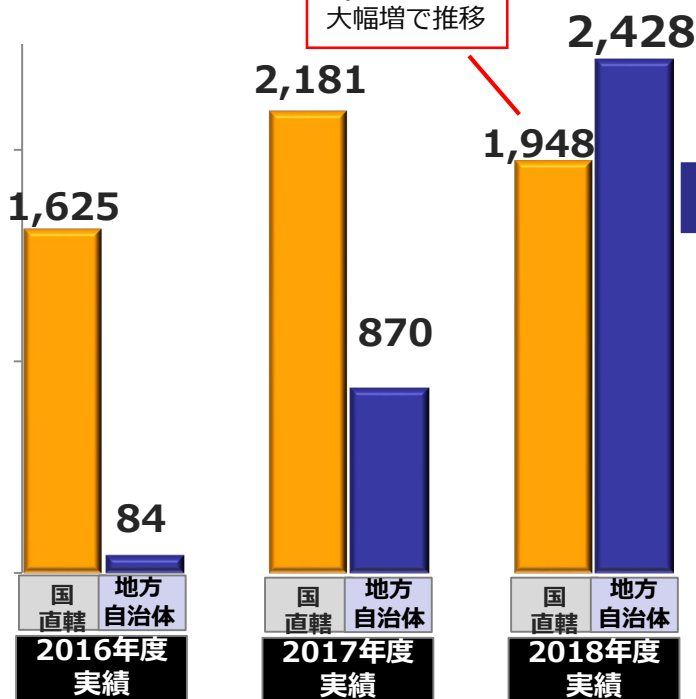
- i-Construction向け販売加速
 - 小規模i-Construction工事が大幅増！
 - 画期的新製品投入で i-Construction 普及をサポート
- アジアIT農業への布石



マーケット動向

国直轄工事に加え地方自治体でもi-Con工事が拡大

i-Construction 発注件数



(出典：国土交通省 ICT活用工事の実施状況)

小規模i-Con工事が大幅増！

従来ICT搭載は
中大型機が中心



小規模工事に適した小型ショベル
向け自動システムの需要創出

既存マーケット



(新車販売台数：国土交通省出典)

新規マーケット



* ミニショベルは含まず

拡販施策

自動システム（後付け）拡販のため

- ① 各建機メーカーの販路活用
- ② 当社トレーニングセンタの更なる活用
(関東・白河・神戸・北九州)

画期的新製品投入でi-Construction普及をサポート

■ 迅速な3Dデータ取得で効率化を実現

トータルステーション + 3Dレーザースキャナー 1台2役！



従来プロセス

トータル
ステーション設置

点観測

スキャナー設置

スキャン

データ取得

New 新プロセス



1台2役

GTL-1000設置

点観測と
スキャンを
同時対応

データ取得

作業工程を
飛躍的に短縮！

■ 施工の生産性向上に貢献！

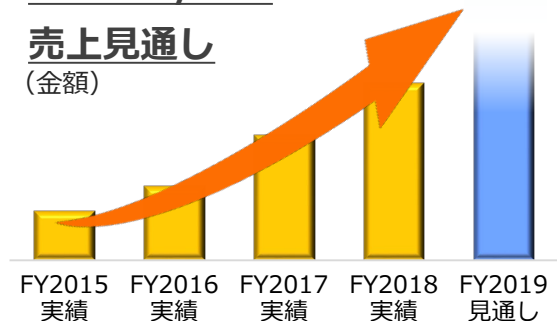
3Dポイントナビ LN-150 リリース予定 **New**



ベストセラー機
LN-100の後継機

LN-100/150

売上見通し
(金額)



タイ農業省とスマート農業 実証実験で基本合意書を締結

■ 国家農業政策を支援

国家プロジェクト「タイランド4.0」*に基づくスマート農業推進計画に参画



左: Mr. Anan Suwannarat
タイ農業省事務次官

右: 木村 新
スマートインフラ事業本部 統括
(事業開発・アジアビジネス 統括)



■ 実証実験の目的

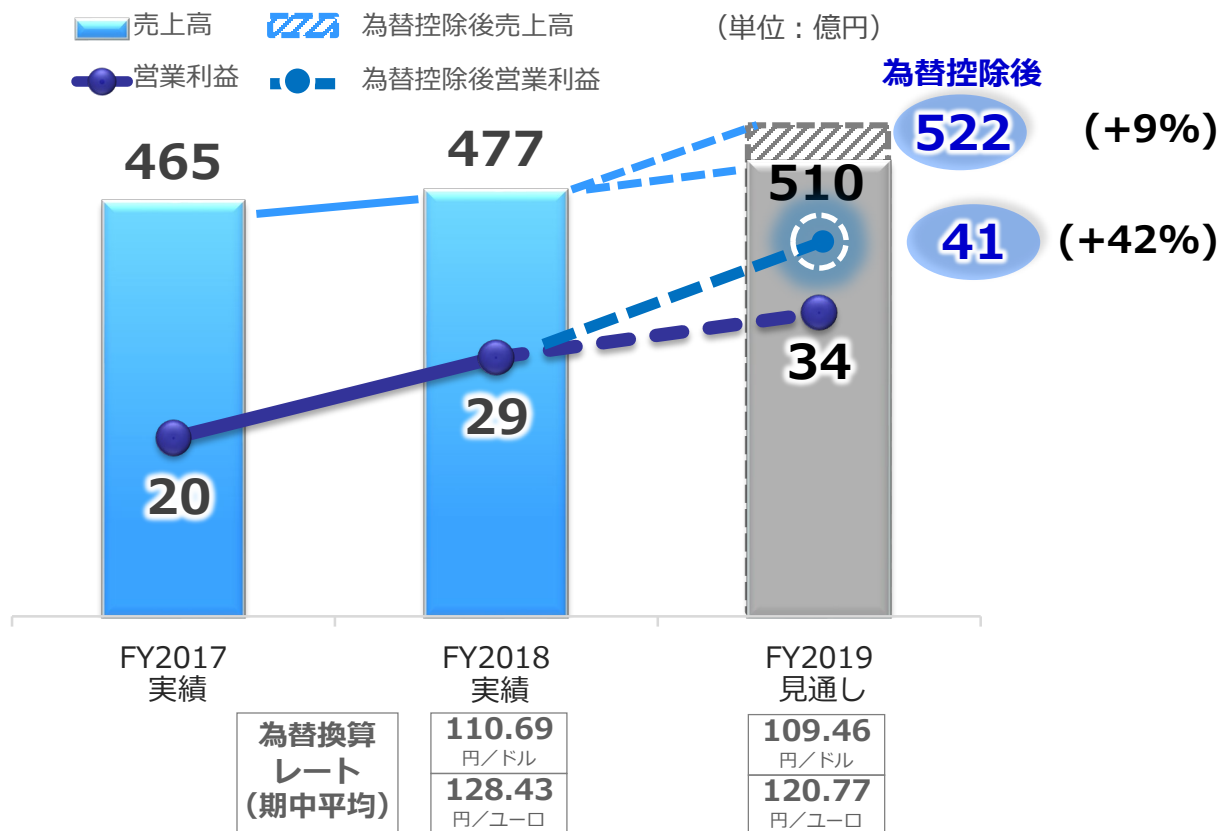
＜農業省が抱える課題＞

農業が主要産業でありながら
他のASEAN諸国より
生産性・品質が低い

当社IT農業ソリューションの
導入効果を実証実験で検証

* タイランド4.0: 経済社会のデジタル化を加速させることで、タイを付加価値創造社会へ移行させるというビジョン
長期経済開発計画の名称

- スクリーニングビジネス拡大
- 中国での拡販
- 3D OCT：世界最大市場の米国で販売好調



米国市場でもOCT導入！

■ Maestro2 大量受注獲得！

Specsavers社 (豪州)に続き、
米国大手眼鏡チェーン店から
大量受注！

フルオート

専門性を要さない
容易な操作

3DOCT-1Maestro2
3D OPTICAL COHERENCE TOMOGRAPHY



Golden Maestro
販売1万台達成記念モデル

2018年全米眼鏡店売上Top50

Rank	店舗名	売上 (百万ドル)	店舗数
1	Vision Source L.P.	2,840	3,279
2	Luxottica Retail	2,470	2,187
3	Walmart Inc.	1,762	3,403
4	National Vision Holdings, Inc	1,537	1,082
5	Costco Wholesale	1,130	509
6	Visionworks of America, Inc.	947	727
...	...	...	...
50	...	...	...
合計		\$14,361 百万	14,690 店

(出典：Vision Monday誌 2019年5月号)

http://www.visionmonday.com/CMSDocuments/2019/05/vmtop50retailers_VM0519.pdf

Specsavers社導入例

Specsavers

(10カ国・1,600店舗を展開する眼鏡チェーン)

2017～2019年 Maestro 350台導入済

効果 早期発見

緑内障検出率：8%

のべ12万5千人（1年間）の被検者のうち約1万人で緑内障の疑いを検出

中国でもスクリーニング需要が高まる

■ 検索大手Baidu(百度)のAI自動診断システムでNW400を採用

(赤十字を通じて貧困地域での眼科検診サービスを提供)

検索エンジン大手Baidu社が
AI眼疾患スクリーニングサービスを開始



トプコンNW400
による眼底撮影



[参考URL]

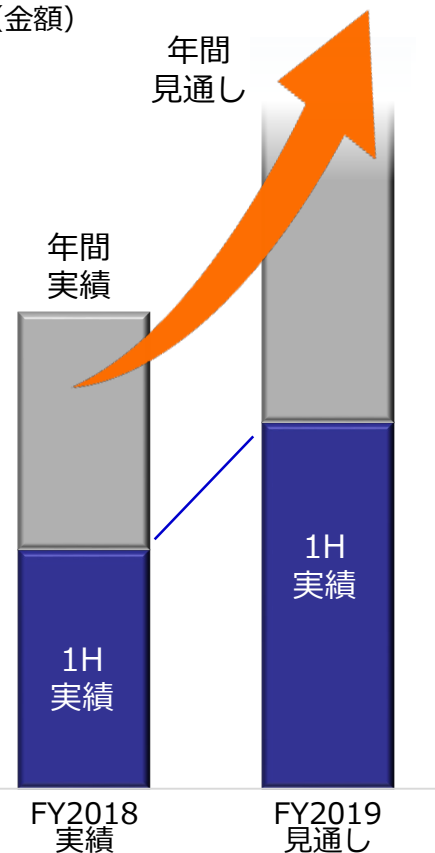
<http://www.fonow.com/view/224661.html>

スクリーニングビジネス拡大に期待！



中国向け売上見通し

(金額)



■ 世界最大の眼鏡展示会で**販売レコード**！ 前年比**1.6倍** (Maestro)

Vision Expo West

9月、ラスベガス



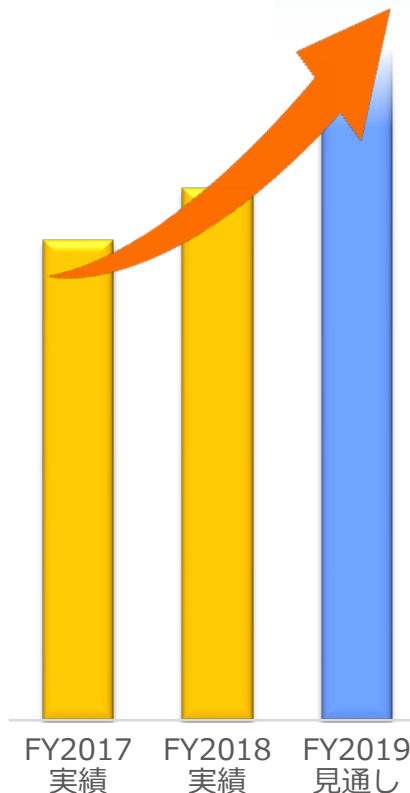
■ 世界最大の眼科学会で**販売好調** 前年比**1.3倍** (Triton)

American Academy
of Ophthalmology
(米国眼科学会)

10月、サンフランシスコ



3D OCT
グローバル販売見通し
(台数)



Ⅱ. 2020年3月期 通期見通し

Ⅱ-1. 2020年3月期 通期見通し

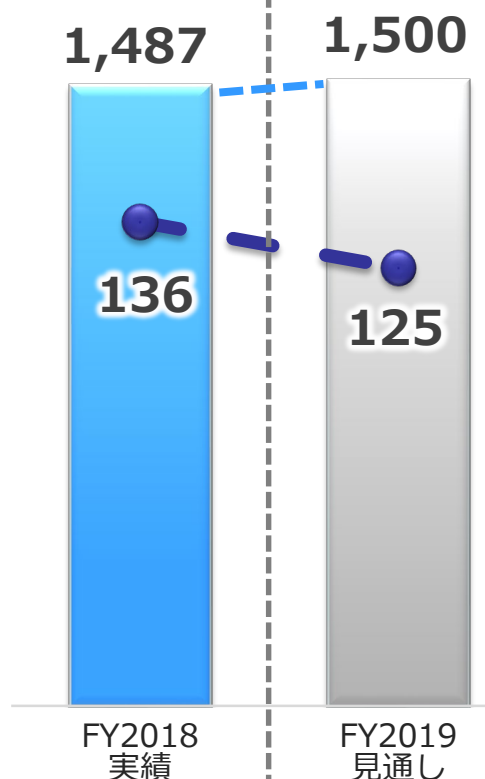
Ⅱ-2. 下期以降の注力事項

Ⅱ-3. まとめ

通期見通し：増収減益

■ 売上高 (単位：億円)

● 営業利益



FY2018
実績

FY2019
見通し

為替換算
レート
(期中平均)

110.69
円/ドル
128.43
円/ユーロ

109.46
円/ドル
120.77
円/ユーロ

	見通し (前年比)	為替控除後 (前年比)
売上高	1,500億円 (+1%)	1,533億円 (+3%)
営業利益	125億円 (△8%)	135億円 (0%)
経常利益	105億円 (△9%)	119億円 (+3%)
純利益	60億円 (△8%)	70億円 (+7%)
配当	見通し 28円	前年度 24円

【TOPCON WAY】

トプコンは「医・食・住」に関する社会的課題を解決し、豊かな社会づくりに貢献します。

住

Infrastructure

医

Healthcare

食

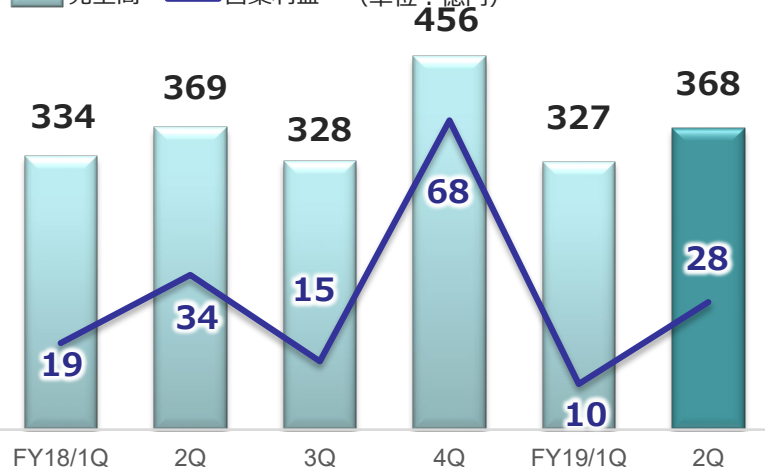
Agriculture

III. 参考資料

四半期別業績推移

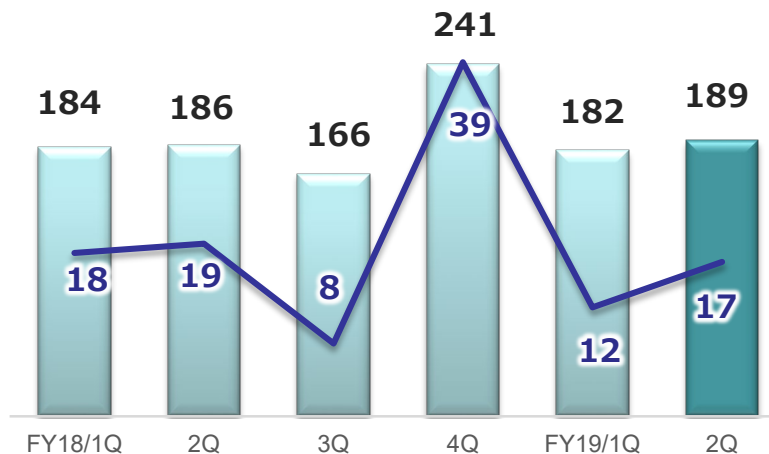
■ 全社

売上高 営業利益 (単位：億円)



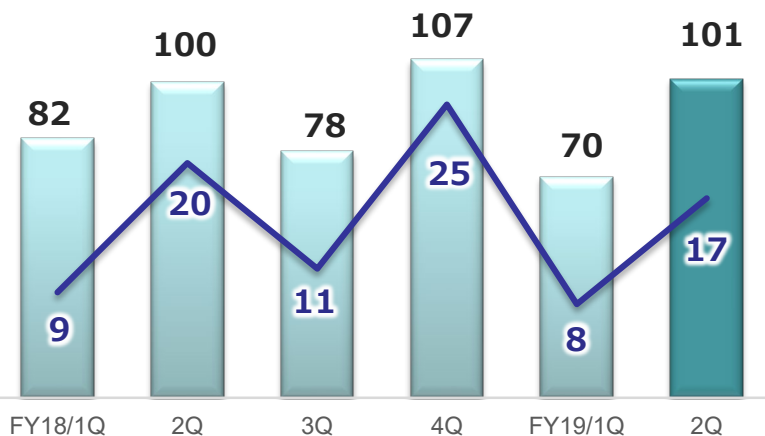
■ ポジショニング・カンパニー

売上高 営業利益 (単位：億円)



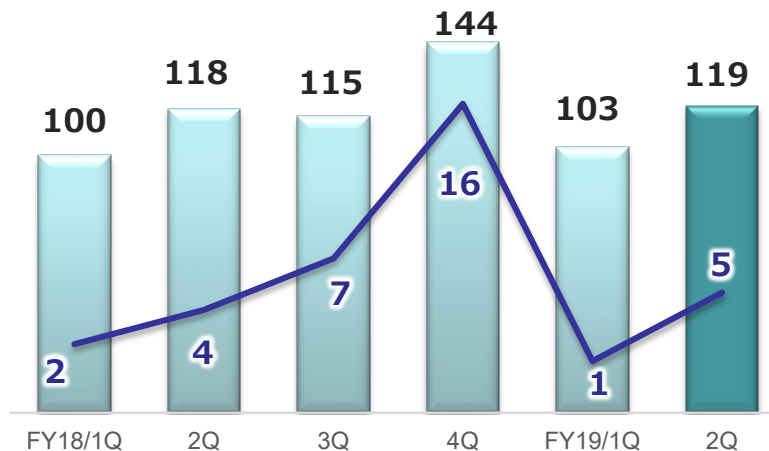
■ スマートインフラ・ビジネス

売上高 営業利益 (単位：億円)



■ アイケア・ビジネス

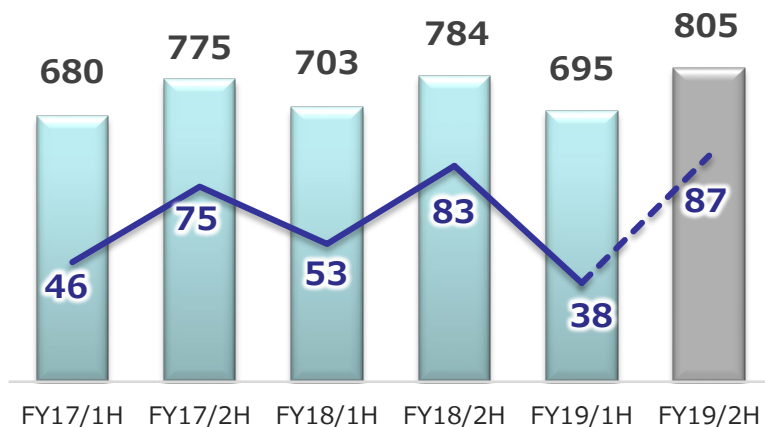
売上高 営業利益 (単位：億円)



半期別業績推移・見通し

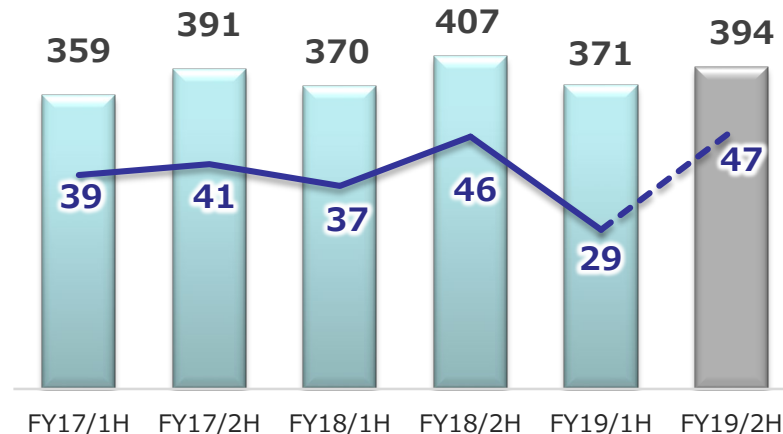
■ 全社

売上高 営業利益 (単位：億円)



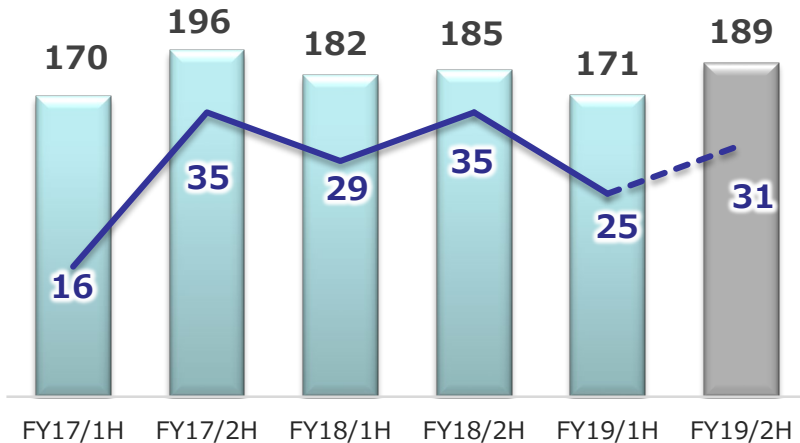
■ ポジショニング・カンパニー

売上高 営業利益 (単位：億円)



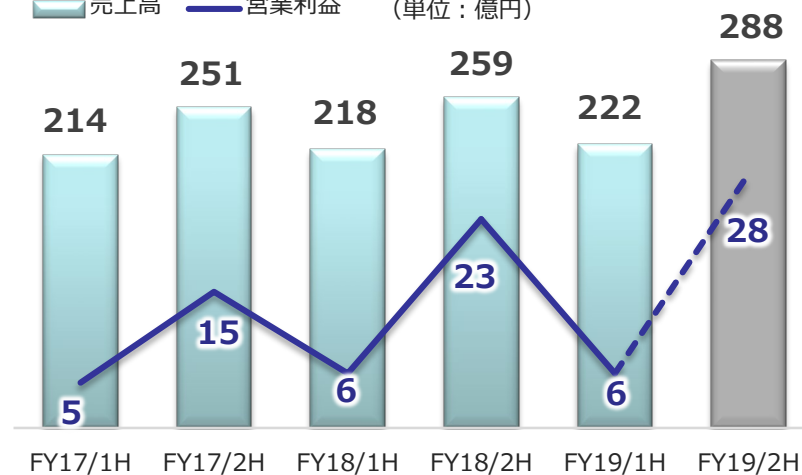
■ スマートインフラ・ビジネス

売上高 営業利益 (単位：億円)



■ アイケア・ビジネス

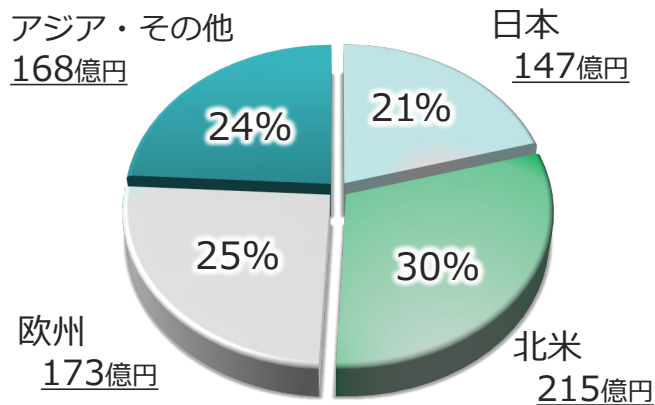
売上高 営業利益 (単位：億円)



地域別売上高

FY2018/上期

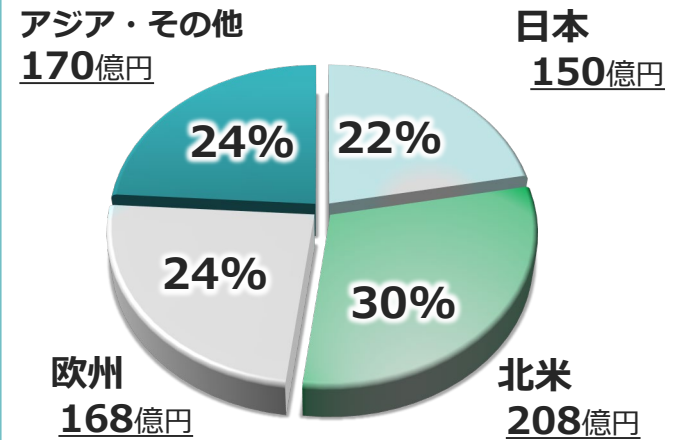
703億円



前年同期比
△1%

FY2019/上期

695億円

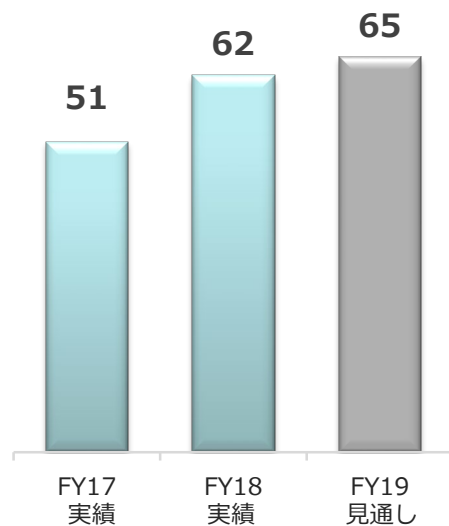


設備投資および研究開発費 年間見通し / 為替感応度

■ 投資額・費用見通し

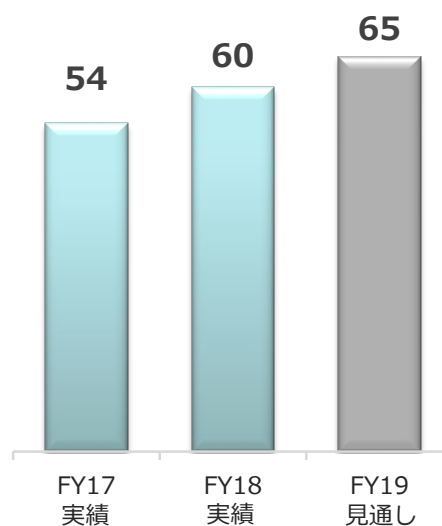
設備投資額

(単位：億円)



減価償却費*

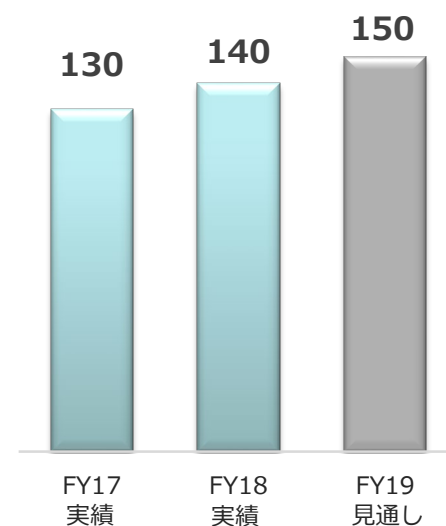
(単位：億円)



*のれん償却費を除く

研究開発費

(単位：億円)



■ 為替感応度（1円の変動による影響額）

USD：営業利益 1.5～2億円

EUR：営業利益 0.7～1億円

当資料取扱上のご注意

本資料に記載の業績見通し、並びに将来予測は、現在入手可能な情報に基づき、見通しのもとになる前提、予想を含んだ内容を記載しております。
実際の業績は、今後の事業領域を取りまく経済状況、市場の動向により、本資料の業績見通しとは異なる場合がございますので、ご承知おき頂きたくお願い致します。

お問い合わせ先

株式会社トプコン 広報・IR室

TEL : 03-3558-2532

E-mail: investor_info@topcon.co.jp

URL : <https://www.topcon.co.jp>